

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
<p>(1) 創業・新事業開拓を目指す取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 墨田区と連携した創業支援事業の実施</li> <li>○ 国や自治体と連携した施策の活用支援</li> <li>○ 東京海洋大学・芝浦工業大学・千葉商科大学・東京理科大学・都立産業技術研究センター等と連携した経営・技術相談の実施</li> <li>○ 連携機関を活用した創業支援融資(保証協会創業支援融資の推進等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年1月20日に施行された産業競争力強化法に基づき、墨田区における創業の促進を目的として、墨田区、当金庫、各支援機関が連携して策定した「創業支援事業計画」が同年6月20日付けで国から認定を受けた。</li> <li>・中小企業が国や自治体の各種施策を活用する為の支援を行う事が地域金融機関に期待されている。</li> <li>・東京海洋大学、芝浦工業大学による技術相談に加え、千葉商科大学と連携した「経営診断実習」を行っている。平成25年度からは東京理科大学、平成26年度には都立産業技術研究センターと連携した。</li> <li>・廃業率が開業率を上回る中、地元自治体、保証協会との連携を通じて創業者に対して創業支援融資に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひがしん創業支援事業」として、「ひがしん創業セミナー」、「ひがしん創業塾」、「相談窓口」の3つの事業を実施。創業希望者や創業間もない方を対象に創業計画書作成の為の講義や個別相談等を実施した。</li> <li>・施策活用の促進を目的として、国や自治体と連携した施策説明会を開催した。</li> <li>・「江戸っ子1号プロジェクト」の事業化推進</li> <li>・経営診断実習の実施</li> <li>・芝浦工業大学および東京理科大学ほか1大学と城東地域活性化協議会の設置</li> <li>・従来から各自治体と連携し創業支援融資に対応し創業者の支援を行っている。また、各保証協会等と連携し創業者に対して保証協会保証付融資にて支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひがしん創業セミナー」に35名、「ひがしん創業塾」に59名が参加。「相談窓口」では158件の個別相談を実施。創業希望者等の創業に対する理解度向上や課題解決等を図った。</li> <li>・開催回数 9回 参加者数 約850名</li> <li>・江戸っ子1号海洋実験成功および連携の取り組みについて、各方面より表彰をいただいた。 全国信用金庫協会 「信用金庫社会貢献賞 会長賞」 内閣府 「海洋立国推進功労者表彰 内閣総理大臣賞」 内閣府 「産学官連携功労者表彰 内閣総理大臣賞」 素材センター 「素材材連携経営賞 中小企業庁長官賞」</li> <li>江戸っ子1号に関連した講演・展示を多数開催。</li> <li>・平成26年度の創業支援融資実績 実行件数 155件 実行金額 778百万円</li> </ul>
<p>(2) 成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業の多様な資金調達への対応</li> <li>・ 事業所ローン「さくせす行進曲」の推進</li> <li>・ ひがしん、日本政策金融公庫 成長基盤強化ローン「パートナー」の推進</li> <li>・ 事業サポート資金</li> <li>・ 医療、介護福祉事業所向け事業資金「成長」Ⅰ、「成長」Ⅱ</li> <li>・ フリーローン「マイライフ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担保、保証人に過度に依存しない融資として、平成13年度から企業信用格付又は、スコアリングで明確・簡便化した「さくせす行進曲Part1」を、15年5月からは融資対象先を拡大した「さくせす行進曲Part2」を発売し、平成25、26年度において内容を改定し、取扱金額の増額並びに、取扱金利の引下げを実施した。</li> <li>・ 日本政策金融公庫と提携し、長期固定の設備資金に対応している。</li> <li>・ 事業性不動産購入、建築に対応する長期資金。</li> <li>・ 医療、介護、福祉事業者向けの商品として発売し、創業、新規開業についても対応可能としている。</li> <li>・ ㈱クレディセゾンの保証付商品である「マイライフ」を、東京商工会議所会員専用の商品へアレンジして発売。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業信用格付、スコアリングによって、融資の可否が簡便に判定出来、過度に担保、保証人に依存しない商品でもある事から、顧客の資金ニーズにスピーディーに対応可能で、顧客の負担も軽減しているため、残高も増加している状況である。</li> <li>・ 平成26年度の改定により、当金庫5億円、公庫5億円の合計10億円(原則5:5)の協調融資へ拡大。(従来は1億円)</li> <li>・ 設備資金の需要に対し、低利の長期資金を提供。</li> <li>・ 医療、介護、福祉事業等、成長分野向けの商品として、運転、設備資金とも低利の資金として、取扱っている。</li> <li>・ 東京商工会議所会員専用のフリーローン「マイライフB」として、運転、設備、事業資金一本化等に対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【平成26年度実績】</li> <li>・ 「さくせす行進曲Part1、2」 実行件数 3,880件 実行金額 40,281百万円</li> <li>・ 成長基盤強化ローン「パートナー」 実行件数 1件 実行金額 6百万円</li> <li>・ 「事業サポート資金」 実行件数 152件 実行金額 18,346百万円</li> <li>・ 「成長」Ⅰ、「成長」Ⅱ 実行件数 15件 実行金額 181百万円</li> <li>・ 「マイライフB」 実行件数 4件 実行金額 450万円</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営者保証に依存しない融資の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域密着型金融の取組みの中で、これまでに「不動産担保・個人保証に必要以上に依存しない融資手法の徹底」「経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則とする融資慣行の確立」等の流れを経て、平成26年2月1日より「経営者保証に関するガイドライン」の適用が開始される。 これに伴い、当金庫は、本ガイドラインを遵守するための体制整備を実施し、経営者保証に依存しない融資を積極的に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規融資受付時に経営者保証なしでの申し出があった場合や、既存の貸出金について保証人解除の申し出があった場合は、ガイドラインの対象になるかを判断し、対象となる場合は保証人なしでの融資対応や保証人の解除に応じている。 また、対象にならない場合は、対象としない理由及び今後対象になった時には保証人なしでの融資や保証人解除に応じることについても十分に説明し、経営者の保証付で融資をすること、または、引き続き保証人となることについて承諾を得ている。 なお、ガイドラインの対象となるお客様については当金庫から積極的に保証人なしでの融資や、保証人の解除に対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営者保証なしでの新規融資 143先 172件</li> <li>・ 既存貸出金の代表者保証解除 129先 206件</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業の海外進出支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度より、海外業務支援担当を新設し、中小企業の海外進出のサポートに取り組んでいる。 平成25年11月には、タイのバンコクにある泰日経済技術振興協会(以下TPA)との連携により、バンコク駐在員デスクを設置し、タイへの進出企業の支援など、サポート体制の強化を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本貿易振興機構(JETRO)、関東経済産業局、中小企業基盤整備機構、信金中央金庫など各関係機関との連携による海外展開支援を行っている。</li> <li>・ TPA内に当金庫バンコクデスクを設置し、TPA職員とTPAへ派遣している当金庫職員で構成する日タイ海外事業展開プロジェクトとして、タイへの進出企業支援を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度海外進出相談実績 48件 内バンコクデスクTPAへの相談 24件</li> <li>・ 平成26年10月8日から同年同月19日まで「マレーシア(クアラルンプール)&amp;タイ(バンコク) 東南アジアの工業団地 日系企業進出視察研修」を2班に分けて開催し計43名が参加。</li> <li>・ タイ企業の日本視察研修(スタディトリップ)2回受入れし、当金庫取引先企業との商談会、交流会を実施。</li> <li>・ 外国人従業員の理解の一助とすべく、タイの大学生6名をインターンシップ生として当金庫及び海外進出を検討している取引先企業で受入れ。</li> <li>・ 海外子会社への直接貸付 2先 50,000千円</li> </ul>

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
<p>(3) 経営改善が必要な取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営改善取組み先に対する経営改善計画書の策定支援と進捗管理の徹底</li> <li>○ 中小企業金融円滑化法終了後の取組み</li> <li>○ TKC東・東京会との連携による取引先企業への支援強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度のリージョンシップバンキング機能強化計画に伴い、取引先と共に地域経済の発展に向けた活動を展開する為、審査部内に「企業支援担当」を設置(その後、平成21年に地域支援部、平成24年にお客様サポート部に移行。現在は与信管理部所属)。以降、取引先の問題・課題に対して、取引先と共に考え、よりコンサルティング機能を発揮し、結果として取引先と当金庫の双方の業績向上や発展・繁栄を主眼として積極的な活動を展開してきた。</li> <li>・今後も取引先と当金庫の双方の業績向上、発展・繁栄を実現するために地域密着型金融を実践し、取引先の真の意味での経営改善支援を強化していく。</li> <li>・本部企業支援担当を中心に経営改善支援先に対して現状分析、課題・問題点の抽出、解決案等を取引先と共に膝を交えて考え、それらを経営改善計画書の策定を通じて従来と同様にコンサルティングを発揮してきた。</li> <li>・平成22年10月1日にTKC東・東京会と当金庫の取引先である中小企業の経営改善・再生支援を目的に「経営改善・事業再生」に関する業務連携、協力に関する契約書を締結している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は金融円滑化法の期限到来や地域密着型金融の更なる推進により、コンサルティング機能の発揮と具体的な解決策を提案し実効性のある経営改善計画書の策定(再策定を含む)支援を通じて経営改善支援に取組むとともに、経営改善計画書の進捗管理を行う。</li> <li>・平成26年度の経営改善取組先は154先を支援先として選定し、支援活動を展開した。</li> <li>・コンサルティング機能については、本部職員のみならず営業店職員にも必要不可欠であり、26年度は融資長会議等において円滑化法終了後の条件変更等の対応について周知を図る。</li> <li>・具体的な活動として、本部企業支援担当者、営業店職員・TKC東・東京会所属の税理士が、企業訪問し、経営改善計画書を策定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は大企業を中心に一部景気回復局面となったものの、中小企業を取り巻く環境は依然厳しく、企業支援対象先154先のうち、債務者区分がランクアップした先は6先となる。</li> <li>・上記経営改善取組先154のうち109先の経営改善計画書の策定支援と進捗管理を行う。</li> <li>・平成26年度は融資長会議等において融資課職員にて金融向け研修円滑化法終了後の金融機関を取り巻く環境や取り組むべきこと等々について周知を図る。</li> <li>・平成26年度のTKC東・東京会との連携による経営改善計画書の策定は13先となる。</li> </ul>
<p>(4) 事業再生や業種転換が必要な取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業再生支援協議会及びその他外部機関の活用推進</li> <li>○ 再生手法(資本性借入金、第二会社方式等)の活用による再生支援の検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生支援については取引金融機関が多数等により、全体の調整が必要で当金庫のみでは対応が難しい場合や、税制などの専門性に絡む再生の場合は、中小企業再生支援協議会等の外部公的支援機関と連携している。</li> <li>・過去にDES、再生ファンドの活用実績があることから、本業では利益、キャッシュフローを計上するも、多額な借入金により財務が毀損している企業を対象に、再生手法の活用先を検討してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融円滑化法の終了により、中小企業再生支援協議会等の公的支援機関と積極的に連携強化を図り、再生支援に取り組んだ。</li> <li>・平成26年8月に(株)地域経済活性化支援機構と秘密保持契約締結により相談対応の体制を構築した。</li> <li>・千葉県産業復興相談センターとの連携による再生支援に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度の中小企業再生支援協議会等への事前相談18先を実施。11先について再生計画が策定された。</li> <li>・医療法人及び土木建築会社の2先に対して事前相談を実施。</li> <li>・当金庫の取引先について千葉県中小企業再生支援協議会を経て、千葉県産業復興センターでの二次対応が決定した。平成27年度DDSを活用した再生支援実施に向け協議中。</li> </ul>

I. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
<p>(5) 事業承継が必要な取引先企業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部支援機関との連携強化による事業承継、M&amp;A等の支援</li> <li>○ 組織化による交流活動を通じた人材育成・ひがしん若手経営者の会 ラパン(若手経営者等で構成)の活動強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年、経営者の高齢化が進行する一方で後継者の確保がますます困難な状況になっており、円滑に事業を引き継ぐための支援が必要とされている。</li> <li>・ 中小企業が直面する事業承継に対する問題を解決し、事業承継がスムーズに出来るようにサポートする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国、墨田区、民間のM&amp;A仲介会社と連携したM&amp;Aの支援や中小企業応援センターのアドバイザーによる窓口相談を実施した。</li> <li>・ 中小企業の後継者に対し、早い段階から経営に対する関心を高め、中小企業後継者が仲間を増やしていくお手伝いと、事業承継後も当金庫の良きパートナーとして相互に発展し地域社会を活性化していくよう、「ひがしん若手経営者の会 ラパン」を組織して活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談件数 67件</li> <li>・ 実業セミナー、はましん経営塾との合同視察研修、関東財務局との意見交換会、地区別交流会、会員大会を開催。 平成27年3月末現在会員数 258人</li> </ul>
<p>(6) 企業のライフステージ全般にわたる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 首都圏東部地区中小企業応援センター(地域プラットフォーム)による経営相談および専門家派遣の実施</li> <li>○ 中小企業経営力強化支援法による「経営革新等認定支援機関」としての機能の発揮</li> <li>○ 営業者活動におけるビジネスマッチングの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度、専門的な経営課題に対応するために適切な専門家を選定し、派遣を実施するもので、地域の支援機関である東京商工会議所墨田支部や東京都中小企業診断士協会城東支部、ITCイースト東京に加え、連携協定締結大学である東京海洋大学、芝浦工業大学、千葉商科大学とコンソーシアムを組成し、地域プラットフォームとして登録した。</li> <li>・ 中小企業が抱える複雑化・多様化する経営課題に対応するため、平成24年8月30日に「中小企業経営力強化支援法」が施行され、中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う経営革新等支援機関を認定する制度が創設された。</li> <li>・ 商談相手や事業の発注先を探しているお客様に対し、最適な企業を紹介するもの。平成19年度からは店舗業績評価の対象項目に設定し、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域事業者の経営・技術課題に対応するための相談窓口の設置および相談対応や専門家派遣の実施、各種施策を周知するためのセミナーの開催等を行った。</li> <li>・ 税理士等の中小企業支援者と連携して補助金等の事業計画策定について支援を行った。</li> <li>・ 営業者担当者が営業訪問活動の中でお客様から寄せられるビジネスマッチングニーズに対し、営業者・本部が連携し当金庫のお取引先企業を紹介。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度専門家派遣数 40件 セミナー開催数 6回 地域プラットフォーム連携会議 1回</li> <li>・ 平成26年度認定支援機関「確認書」発行179件(中小企業庁補助金申請支援件数) ※内、連携している金融機関として33件発行</li> <li>・ 補助金採択件数は74件</li> <li>・ 平成26年度ビジネスマッチングの相談件数は819件うち、成約件数は673件。(ビジネスフェアでのマッチング含む)</li> </ul>

Ⅱ.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
<p>(1)ビジネスマッチングの推進により地域の活性化を図る</p> <p>○「ひがしんビジネスフェア」を活用した取引先企業のビジネスマッチング支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成15年から開始した異業種交流会「フォーラム・イン・オーロラ」を継続して実施し、平成19年の第7回から名称を《ひがしんビジネスフェア》とし、当金庫取引先以外にも広く門戸を開放した異業種交流会として開催している。また、支店単位で取引業者などを紹介するビジネスマッチングも行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度から《ひがしんビジネスフェア》と改称して、当金庫取引先に限定せず、広く参加企業・参加者を募るビジネスマッチング会として実施した。墨田区、江東区、江戸川区をはじめ各商工会議所、法人会、産業団体などの協力を得て、平成20年からは両国国技館で開催してビジネスマッチングの機会を広く提供している。また、当金庫支店単位で取引業者などを紹介するビジネスマッチングも行っており、平成19年度からは店舗業績評価にも反映させ、積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出展社数は191社</li> <li>バイヤー招聘数は20社</li> </ul>
<p>(2)商工会議所との連携強化による地域活性化への取組み</p> <p>○ 商工会議所との連携強化による地域活性化への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業が抱える複雑化・多様化する経営課題への対応や地域活性化のためには、他の支援機関と連携した取り組みが必要とされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や自治体の施策活用の促進を目的とした施策説明会の共催、自治体が行う創業や事業承継の支援への共同参画と連携した支援等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策説明会の開催回数 9回</li> <li>創業支援者会議への出席 3回</li> <li>事業承継支援者会議への出席 2回</li> </ul>

II.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
(3)地域との産学官連携活動の実施			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すみだ産学官連携クラブの活動</li> <li>○ 城東地域活性化推進協議会の活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墨田区と早稲田大学が包括提携をしたのを機に平成15年に区内企業約30社が集まりすみだ産学官連携クラブを結成し当金庫も参画している。大学からの先端技術を会員企業が取り入れて製品を作り上げることを主な活動としている。マルチマイクロ発電機(風力・光・熱の3要素で発電)や小型電気自動車&lt;HOKUSAI&gt;などを完成させた。</li> <li>・ 平成26年12月、芝浦工業大学、東京電機大学、東京理科大学と当金庫が大学が所在する基礎自治体の協力を得て産学官連携の実績をもとに相乗効果を引出し地域の課題解決と産業活性化につなげることを目的として連携体を構築した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「えどがわ環境フェア」にてHOKUSAIの展示、資料配布、会員企業のPRなど</li> <li>・ 「セイコーミュージアム」「Garage Sumida」視察会実施</li> <li>・ キックオフイベント「城東地域×理工系3大学連携セミナー」防災を機に代わる下町の暮らしと産業を開催し、各大学の講演、大学・当金庫によるパネルディスカッションを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官連携の意義・成果について地域へのPR</li> <li>・ 城東地域の災害リスクとその対応や現在開発中の最新防災技術について地域事業者への周知</li> </ul>
(4)ライフサイクルに合わせた預金商品の取り扱いによる支援機能強化			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひがしんファミリーとくどく定期積金の取扱い</li> <li>○ がん検診受診率向上啓発定期預金「ひがしん なでしこ」の取扱い</li> <li>○ 退職金定期預金「ひがしん 耀(かがやき)の取扱い</li> <li>○ 年金受給者向け定期預金「わ〜い わ〜い500」の取扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活費や教育費のかかる子育て世帯に対し、将来の備えと貯蓄を目的として積立を行う事を奨励し、必要な時にはローンが利用できる機能を付加させて、平成19年7月より取扱いを開始。</li> <li>・ 商品は下記の4種類 50万円コース(17千円×36回、12千円×60回) 100万円コース(34千円×36回、23千円×60回)</li> <li>・ 墨田区と「健康づくり推進に向けた包括的連携に関する協定」を結び、墨田区内在住の20歳以上の女性で、墨田区が実施する乳がん、子宮がん検診を受診される方に対し、専用の2年もの定期預金(受診が2年毎)を加入者にオリジナルバッグをプレゼント。(平成24年10月より取扱い)</li> <li>・ 増加する定年退職者の受け皿商品として、平成25年1月より取扱いを開始し、退職金受取後1年以内の個人顧客を対象として、下記の商品を用意。 定期預金 3ヶ月もの 1.20% 定期預金+新規年金受給口座 3ヶ月もの 1.50%</li> <li>・ 当金庫にて年金受給口座を保有している顧客に対し、定期預金の金利を優遇し、年金受給口座の流出を防止する囲い込みツールとして、平成8年11月より取扱いを開始。(裁定請求、指定替手続中の顧客も可としている) 預入限度額 500万円 取扱金利 店頭表示金利+0.30%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当金庫のホームページに掲載するとともに、店頭掲示ポスター、据置チラシ等において、店頭来店顧客を中心に推進している。 子女の人数が増える程(上限3人)、基準金利に上乘せする金利が優遇される商品であり、学校自振(教材費・給食費)口座作成のために来店されるお客様に、積極的に推進し、好評を博している。</li> <li>・ 墨田区内の9店舗に対し、店頭掲示ポスター及び、据置チラシを配布して、啓蒙活動を行うとともに、墨田区が発送する、がん検診の通知の封書に、商品のチラシを同封して告知している。</li> <li>・ ホームページへの掲載、並びに店頭据置チラシを作成し、新規顧客を中心に推進活動を展開。 3ヶ月の短期商品である事を踏まえ、満期までの間に投資信託や、保険商品の契約に向けた、推進活動を実施している。</li> <li>・ ホームページへの掲載、店頭掲示ポスター、チラシを作成し、営業係を中心として積極的に推進活動を実施している。又、年金推進ポスター、チラシにも優遇商品として記載している。 平成26年4月より預入限度額が、300万円から500万円に増額している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【平成26年度実績】</li> <li>・ 契約件数 1,001件 契約金額 977百万円</li> <li>・ 契約件数 10件 契約金額 3.8百万円</li> <li>・ 契約件数 76件 契約金額 796百万円</li> <li>・ 契約件数 36,657件 契約金額 65,807百万円</li> </ul>

II.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
(5) 地域に密着した顧客の組織化推進による多様なサービスの向上			
<p>○ 地域に密着した顧客の組織化推進による多様なサービスの向上</p> <p>① 事業主の会 ひがしんビジネススクラブ「オーロラ」</p> <p>② 年金受給者の会 (当金庫受給口座指定者) ひがしん わいわい倶楽部</p> <p>③ 女性の会 ひがしんレディーススクラブ「レインボー」</p> <p>④ 若手経営者の会 ひがしん若手経営者の会「ラバン」</p>	<p>① ひがしんビジネススクラブ「オーロラ」(平成4年7月発足) 事業経営に関する会員の情報交換、相互交流を行い、地域の経済発展に寄与する事を目的とする。</p> <p>② ひがしんわいわい倶楽部(平成7年4月発足) 会員相互の交流と親睦を図り、豊かな生活と健康の維持増進を目指し、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。</p> <p>③ ひがしんレディーススクラブ「レインボー」(平成20年9月発足) 各種催事を通じて会員の個性を発揮し、創造性を高め会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。</p> <p>④ ひがしん若手経営者の会「ラバン」(平成20年12月発足) 若手経営者・後継者で構成。加入資格は45歳以下。企業経営を担う経営者相互の交流と、経営に関する啓発・情報交換を通じて、新しい経営の在り方を学ぶとともに、会員同士の親睦を図ることを目的とする。</p>	<p>・ 各顧客組織の各種活動を通じて、より一層のコミュニケーションを図り、当金庫の良きパートナーとして相互に発展していき、地域社会を活性化していく。</p> <p>① ひがしんビジネススクラブ「オーロラ」 ・ 年1回会員大会開催 ・ 地区毎または、各支部において経営勉強会、講演会、研修会、懇親会などを開催</p> <p>② ひがしんわいわい倶楽部 ・ 文化、教養、趣味などの講演会・講習会の開催 ・ 旅行、見学会、スポーツ競技会等の開催 ・ 高齢者の介護関連支援事業</p> <p>③ ひがしんレディーススクラブ「レインボー」 ・ 年1回の会員大会開催 ・ 文化、教養、趣味などの講演会・講習会の開催 ・ 旅行、見学会、スポーツ競技会等の開催</p> <p>④ ひがしん若手経営者の会「ラバン」 ・ 年1回会員大会開催 ・ 勉強会、研修会、研究会、講演会の開催 ・ 産業視察、工場見学の開催 ・ 他団体との交流事業の開催</p>	<p>・ 顧客組織化の各種活動を通じて、より一層のリレーションが図られ、会員間での交流の輪が拡大していくことで地域活性化につながる成果が期待できる。 今後も、各組織会員のニーズにマッチした事業を実施するとともに、地域貢献・社会貢献活動も実施していく。</p> <p>① ひがしんビジネススクラブ「オーロラ」(3月末会員数 1,635社) ・ 平成26年4月9日「江戸川地区セミナー」参加者 240名 ・ 平成26年5月9日「千葉地区セミナー」参加者 138名 ・ 平成26年5月16日「北地区セミナー」参加者 203名 ・ 平成26年5月23日「西地区セミナー」参加者 142名 ・ 平成26年6月10日「墨田地区セミナー」参加者 220名 ・ 平成26年6月18日「江東地区セミナー」参加者 166名 ・ 平成26年9月17日・18日「会員と家族のイベント大会」参加者1,363名 ・ 平成26年10月8日～19日「海外視察」2班 参加者 43名 ・ 平成26年10月14日「スペシャルコンサート」来場者数1,200名 ・ 平成26年11月17日「企業経営セミナー」参加者 60名 ・ 平成27年3月6日「会員大会」参加者1,300名</p> <p>② ひがしんわいわい倶楽部(3月末会員数 46,598名) ・ 平成26年7月1日「落語セミナー」参加者200名 ・ 平成26年9月3日・4日「明治座観劇会」参加者3,700名 ・ 平成26年11月18日・19日・21日「日帰りツアー」参加者289名 ・ 平成26年12月3日～5日「ウォーキングツアー」4日間参加者200名 ・ 平成27年2月10日「落語セミナー」参加者200名 ・ 平成27年3月1日～20日「わいわいツアー」参加者2,500名</p> <p>③ ひがしんレディーススクラブ「レインボー」(3月末会員数 632名) ・ 平成26年6月17日～19日「日帰りツアー」参加者214名 ・ 平成26年9月10日「第6回会員大会」参加者299名 ・ 平成26年10月21日～23日「海外旅行」参加者66名 ・ 平成27年2月24日「教養セミナー」参加者200名</p> <p>④ ひがしん若手経営者の会「ラバン」(3月末会員数 258名) ・ 平成26年5月28日「実業セミナー」参加者97名 ・ 平成26年8月5日「江東地区交流会」参加者24名 ・ 平成26年10月24日「はましん経営塾との合同視察研修」参加者41名 ・ 平成26年10月28日「西地区交流会」参加者28名 ・ 平成26年11月6日「江戸川地区交流会」参加者47名 ・ 平成26年11月7日「北地区交流会」参加者55名 ・ 平成26年11月10日「関東財務局との意見交換会」参加者22名 ・ 平成26年11月19日「墨田地区交流会」参加者42名 ・ 平成26年11月20日「千葉地区交流会」参加者37名 ・ 平成26年12月5日「第6回会員大会」参加者242名</p>
(6) 地域活性化ローン「粋」・「雅」の推進			
<p>○ 地域活性化ローン「粋」・「雅」の推進</p>	<p>・ 東京スカイツリーの開業で活性化が見込まれる地域の資金ニーズに応える事を目的とし、設備資金に限定した商品として、事業先対象の「粋」、個人対象の「雅」として、平成24年4月から取扱いを開始。</p> <p>・ 個人の「雅」については、平成24年7月に資金用途を改定し、利用できる幅を広げた。</p> <p>・ 法人の「粋」についても、平成26年10月に資金用途を改定し、運転資金の利用を可能とし、地域顧客の利便性向上に努めている。</p>	<p>・ 「粋」については、事業先対象の商品で、店舗改装、新規開業・創業に係る設備等の設備資金ニーズに対応する商品としており、資金用途の改定を行い、太陽光発電設備や、運転資金にまで資金用途を拡大するとともに、融資条件も緩めている。</p> <p>・ 個人対象の「雅」についても、資金用途を「健康で文化的な生活を営む為に必要な資金」として、利便性を高めている。</p> <p>・ 「粋」を利用した新商品「商店街応援ローン」の取扱いを開始、商店街の事業所に特化した商品として、地元商店街の活性化に寄与している。</p>	<p>・ 「粋」 実行件数 726件 実行金額 2,638百万円</p> <p>・ 「雅」 実行件数 105件 実行金額 215百万円</p> <p>・ 「商店街応援ローン」 実行件数 651件 実行金額 1,921百万円</p>

II.地域の面的再生への積極的な参画	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
(7) 商店街活性化支援 ○ 商店街活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティの重要な担い手である商店街活性化を支援することを目的として、平成26年2月21日に経済産業省は平成25年度補正予算「地域商店街活性化事業(にぎわい補助金)」、「商店街まちづくり事業(まちづくり補助金)」の公募を開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当金庫営業担当者を中心とした提案訪問活動により、申請ニーズを捉え、中小企業応援センター職員による申請書作成についてアドバイスを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度実績 採択件数 25件 採択金額 89百万円</li> </ul>
(8) 信用金庫業界のネットワーク活用 ○ 信用金庫業界のネットワーク活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用金庫業界の広域連携先との情報網を活用し、ビジネスマッチングの機会と企業経営者の交流を目的としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜松信金「はましん経営塾」とひがしん若手経営の会「ラパン」との合同視察研修を実施。</li> <li>旅行企画に於いて、他信金の取引先のホテル、飲食店、お土産店などを旅行行程に組み入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年10月24日浜松信金「はましん経営塾との合同視察研修」で東京都立産業技術センター、東京スカイツリー地域冷暖房施設を見学。参加者41名</li> <li>平成26年5月13日～23日「北陸路2泊3日の旅」を催行。金沢信金・高岡信金・のと共栄信金の取引先のホテル・飲食店・お土産店を旅行企画に組み入れる。参加者331名</li> </ul>



Ⅲ.地域や利用者に対する積極的な情報発信	動機(経緯)	取組み内容	成果(効果)
(1)ガバナンスの強化			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひがしん「経営報告会」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成16年度から信用金庫版のIR活動として「経営報告会」を開催している。「経営報告会」は、出資会員の方々を中心に、当金庫の経営内容や経営方針を積極的に開示することによって、地域から一層の信認を得ることを目的としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度は、「ひがしん経営報告会」として3会場にて開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年9月9日「浅草ビューホテル」西・北地区 参加者 154名</li> <li>・ 平成26年9月12日「タワーホール船堀」江戸川・千葉地区 参加者 164名</li> <li>・ 平成26年9月16日「江戸博ホール」墨田・江東地区 参加者 191名</li> </ul>
(2)地域に対する情報発信			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ディスクロージャー誌・「ひがしんを知っていただくガイドブック」「Good Smile」・「わいわい倶楽部通信」・ホームページ等を活用した情報発信</li> <li>○ 地域密着型金融の取組み状況・取組み項目の情報発信</li> <li>○ 映像取材による地域密着活動の紹介(ロビー映像)等による情報発信</li> <li>○ 地域密着・Face to Faceを基本としたポスター等媒体物による情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お客様に金庫の活動や取組みについて、今まで以上に知っていただき、信頼され愛される金庫とするために通期ディスクロージャー誌、通期ミニディスクロ、半期レポートの他、「ひがしんを知っていただくガイドブック」を作成した。</li> <li>・ 社会貢献活動や、産学官金連携などを取材しロビー映像として放映することで企業情報や金庫の取組みを地域へ発信した。</li> <li>・ 縁からつながる地域の輪を大切にして、地域社会の活性化を目的に、地域及び企業紹介により地域のコミュニティづくりを積極的に応援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ひがしんを知っていただくガイドブック」については、当金庫のブランド力である「産・学・官・金」連携事業の紹介の他、金庫の経営課題とそれに対する具体的施策の取組み状況、当金庫のビジネスモデルやCSR活動など写真を多用し、お客様に分かり易く紹介した。</li> <li>・ 当金庫の社会貢献活動、各種イベント情報や地域行事、金庫の取組等を積極的に取材し、デジタルサイネージにて配信している。</li> <li>・ 当金庫情報誌「Good Smile」、「わいわい倶楽部通信」等で、地域及び企業紹介により、お客様とのパートナーシップをを大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ひがしんを知っていただくガイドブック」については50,000部作成し、「ひがしん経営報告会」の他、店頭及び営業の訪問先にて配布しPRができた。</li> <li>・ 当金庫80カ所の店舗(本支店・有人出張所)や各種イベントで放映している。</li> <li>・ 当金庫情報誌「Good Smile」 年2回発行 発行部数 80,000部</li> <li>・ 「わいわい倶楽部通信」 年2回発行 発行部数 80,000部</li> </ul>